

16世紀末から18世紀半ばに生まれたバロック音楽——

第一部では、イタリア・フランスの巨匠たちの名曲を華やかにお届けします。

第二部「クレオパトラ」はプロジェクションマッピング、字幕、お芝居とともに

一本のオペラをご覧いただくような演出でお楽しみ頂けます。

ソプラノ 西口 彰子



小山市出身、県立宇都宮女子高等学校を卒業。東京藝術大学卒業後、渡米。マネス音楽院修士課程及びプロフェッショナル・ディプロマコースを卒業。「ナクソス島のアリアドネ」イスラエル公演ナヤド役にてオペラデビュー。ニューヨークやドイツの数々のコンクールで入賞し、ドイツ、ジルバスターコンサートでライントラント＝プファルツ州立フィルハーモニー管弦楽団と共演。アルゲマイネ紙に「光り輝く高音、心地よいピブラート、音程、声のしなやかさによって聴衆は誰もが息を呑んだ。」と評される。これまで群馬交響楽団、東京藝大シンフォニーオーケストラ、東京フィルハーモニー交響楽団などと共演。歌を通して人間の心身の働きに深い興味を持ち、2019年英国アレクサンダーテクニーク協会(STAT)公認教師資格を取得。小山・東京にて教室を開講。現在アレクサンダーテクニークスタジオ東京にて教師養成コースの非常勤講師を務める他、俳優・タレント養成所や音楽高齢者施設での講師も務める。国本学園(音楽)非常勤講師。小山評定ふるさと大使。二期会会員。
公式HP: <https://akiko-nishiguchi.net>

ヴァイオリン 上保 朋子



小山市在住。4歳からピアノとヴァイオリンを始める。1990年、全日本学生音楽コンクール東京大会小学生の部入選。2000年、日本モーツァルトコンクール東京大会入選。桐朋女子高等学校音楽科を経て、桐朋学園大学音楽学部演奏学科を卒業。現在、オーケストラ、ソロ、室内楽など多方面で活動。これまでに、山田かをる、松原広地、坂口真紀、鷲見健彰、石井志都子の各氏に師事。2015年5月放映のTBSテレビ「マツコの知らない世界」にて、マツコデラックス氏と対談。MCFオーケストラとちぎ コンサートミストレス。小山評定ふるさと大使。

ヴァイオリン 矢嶋 暁子



宇都宮市在住。桐朋学園大学音楽学部演奏学科卒業。鷲見三郎、松岡典子、篠崎功子の各氏に師事。オーケストラ・アンサンブル金沢に入団。室内楽でアメリカ・コネチカット州の音楽祭に出演、メキシコ公演を行う。スイス・ジュネーブ音楽院に留学。コラード・ロマン氏に師事し、ブルミエ・ブリで卒業。2000年にオーケストラ・アンサンブル金沢を退団し、現在はフリーでの演奏活動と指導を行う。宇都宮市在住。MCFオーケストラとちぎメンバー。

ヴァイオリン 打保 早紀



岐阜県高山市出身、栃木県宇都宮市在住。第57回全国植樹祭にて前天皇皇后両陛下の御前で演奏。岐阜県知事より感謝状を授与される。名古屋音楽大学音楽学部弦楽専攻卒業、及び同大学院研究科修了。オーディション選抜による、室内楽の夕べ、修了演奏会等に出演。ハンガリー国立リスト音楽院に留学。ヴァイオリンをサブディ・ヴィルモシュ、エーデル・パール各氏に師事。留学中、ハンガリー国内各演奏会出演。フィンランド・ロヒアにおけるVilmos Szabadi氏マスタークラス修了。ガラコンサート出演。現在、栃木県を中心にソロ、室内演奏活動の傍ら、各音楽教室で後進のヴァイオリン指導も行っている。MCFオーケストラとちぎメンバー。宇都宮短期大学音楽科、同附属高校音楽科講師。

ヴァイオリン 渡邊 弘子



宇都宮市出身。東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て、同大学器楽科卒業。第9回日本クラシック音楽コンクール全国大会第2位。第8回ヴェルディ芸術文化振興会特別オーディション合格、プロデューサーA賞受賞。第13回コンセルマロニエ21入選。第10回ルーマニア国際音楽コンクール入選。これまでにヴァイオリンを宮田佳代、沼田園子、永峰高志、久保田巧、浦川宜也、久保陽子、ピエール・アモワイヤルの各氏に師事。現在は、ソロ、室内楽、オーケストラ、オペラなど、各地で活動している。MCFオーケストラとちぎメンバー。公式HP <https://fiordivioliino.jimdofree.com/>

ヴァイオリン 亀田 砂織



下野市出身、下野市在住。3歳よりヴァイオリンを始める。桐朋女子高等学校音楽科、桐朋学園大学音楽学部演奏学科卒業。その後オーストリア・グラーツ国立音楽大学大学院、ウィーン市立音楽院にて研鑽を積む。ヴァイオリンを喜多満子、佐藤美代子、篠崎功子、ハイデ・アウエルズベルグ、アレクサンダー・アレンコフの各氏に、室内楽を名倉淑子、村上弦一郎、アルテンベルグ・トリオ・ウィーンの各氏に師事。日本クラシック音楽コンクール、若き音楽家のためのマルコジ国際コンクール、ロヴェーレ・ド・オロ国際コンクール等に入賞。「T.I.M」国際コンクールにてディプロム取得。オーストリア国際室内楽フェスティバル「アレグロ・ヴィーヴォ」にて奨学金及び音楽祭賞受賞。MCFオーケストラとちぎメンバー。現在、演奏活動の傍ら後進の指導にあたる。

ヴィオラ 生沼 晴嗣



下野市出身。小山市在住。東京芸術大学付属高校を経て、1970年、同大学卒業後、日本フィルハーモニー交響楽団に入団。1973年退団。故岩本政蔵、故井上武雄、故浅妻文樹、イツァーク・ショッテンの各氏に師事。その後、古典音楽協会室内合奏団、東京ゾリス室内合奏団を経て、1976年より、巖本真理弦楽四重奏団にて活躍。巖本氏亡き後、ソロ及び室内楽の分野で幅広く活動し、1992年より読売日本交響楽団ソロ・ヴィオラ奏者に就任。2012年3月退団。2015年5月放映のTBSテレビ「マツコの知らない世界」にて、マツコデラックス氏と対談。MCFオーケストラとちぎ首席ヴィオラ奏者。小山評定ふるさと大使。

ヴィオラ 中村紀代子



東京音楽大学卒業、同大学研究生修了。第21回草津夏期国際音楽アカデミー&フェスティバルに室内楽奨学金を得て参加。2007年、日本ピアノ室内楽コンクール第一位(ピアノ四重奏)。ヴィオラを兎東俊之、クロード・ルローン、百武由紀、岡田伸夫の各氏に師事。室内楽、オーケストラ、レコーディングやライブ等、様々なジャンルで活動中。

チェロ 玉川 克



5歳より才能教育研究会にてチェロをはじめ。宇都宮短期大学附属高校音楽科を経て、桐朋学園大学カレッジディプロマコース修了。2005年よりサイトを開始。2011年、2021年とパッハの無伴奏組曲全曲を取り上げる。室内楽奏者として非常に多くの演奏会に携わっており、2003年に結成した昂21弦楽四重奏団では、東京、山形、仙台、宇都宮、横浜でのコンサートを毎年開催。さらに、TKカルテット、スーパー・チェロ・アンサンブル・トウキョウのメンバーとしても定期的に演奏を行っている。近年新たに、出身地である栃木県において本格的な室内楽コンサートを届ける「玉川克の室内楽シリーズ」を主宰している。その他、客演首席奏者として国内の主要オーケストラから招聘されるほか、クラシック、ポップスなどジャンルを問わずレコーディングへの参加多数。

チェロ 佐藤万衣子



佐野市出身。11歳からチェロを始め、数ヶ月後館林ジュニアオーケストラ所属。白鷗大学足利中学校、高校音楽科卒業。東京音楽大学器楽科チェロ専攻卒業。3.4年、特待生奨学金を授与される。また短期留学特別奨学金を得て、オーストリア国立モーツァルトウム・ザルツブルク国際音楽サマー・アカデミーにて研鑽を積む。桐朋学園大学音楽学部研究科修了。これまでにチェロを尾形篤信氏、三木敬之氏、菊田雅治氏、ドミトリー・フェイギン氏に師事を受ける。室内楽を齋藤真知恵氏、百武由紀氏、掘了介氏、細川順三氏に師事。現在フリーの演奏家として、室内楽やオーケストラ、またアーティストの録音やライブ等、様々なジャンルで活動している。

コントラバス 増山 一成



宇都宮短期大学付属高校音楽科卒。東京芸術大学卒。ウィーン国立音楽大学留学。元読売日本交響楽団団員。同エルダー楽員。現在、宇都宮短期大学、同付属高校音楽科非常勤講師。東京ハルモニア室内合奏団、MCFオーケストラとちぎ、エテルニータ室内合奏団コントラバス奏者。

チェンバロ 桑生美千佳



桐朋女子高等学校音楽科を経て、桐朋学園大学音楽学部演奏学科卒業。在学中よりアンサンブルピアニストとして多くの演奏家と共演。東京バロックプレーヤーズをはじめ、チェンバロやオルガンなど鍵盤奏者としても活動。また、横浜を拠点とする特定非営利活動法人「ハマのJACK」(令和3年度横浜文化賞文化・芸術奨励賞受賞)のメンバーとして、コンサートやワークショップ企画、若手育成プロジェクトに関わるなど様々な活動を展開している。

プロジェクションマッピング 奥村 知之

切り絵映像 高橋 詩織

 検温 37.5℃以上のお客様はご入場をご遠慮いただきます。	 手指消毒 入場口で手指消毒を実施します。	 会話を控える 会場内ではお静かに願います。	 チケットへの記名 チケット裏面に連絡先を記入し、ご自身で半券を箱に入れて下さい。
 マスク着用 マスクを着用でない方は入場をご遠慮いただきます。	 換気 客席扉及び入場口を解放し換気します。	 時差退場 密を防ぐため時差退場を実施する場合があります。	 ソーシャルディスタンス ホールの定員数を制限します。密を避けてお過ごし下さい。

※今後の新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては、公演を中止・延期する場合がございます。